

## 1 経営的特徴と導入方法

スプレーギクは、洋風の花材として近年人気を集め、ギフトやアレンジメントに積極的に使用されてきている。全国の栽培面積は、最近5年間で約50%増となっており、生産が急激に増加している。

本県では、スプレーギクの専業農家はごく一部でほとんどが輪ギクと組み合わせた栽培が多く、産地としてのロットが小さい。輪ギクと同様に、長期安定継続出荷の可能な産地づくりが必要である。

経営的には、輪ギクに比べ摘蕾作業の時間が少なく済むが、多品種の導入が必要であり、市場流通している品種は、パテント品種が多く、種苗費が経営費に占める割合が高い。

表1 10a 当たり旬別所要労働時間 (単位: 時間)

月	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
時間												45.0	20.0	10.0	20.0	66.0	50.0	30.0

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
55.0	15.0	20.0	16.0	15.0	15.0	15.0	146.0	146.0										684.0

(注) 1. 宮城県営農基本計画指標(1996.3)

2. 出荷本数 40,000本/10a 9月出荷

## 2 生理生態的特性と適応性

スプレーギクとは芽かきを行わずに房咲き仕立てとするキクのことである。スプレーギクには、我が国の一輪ギクと同様に、夏ギク、夏秋ギク、秋ギク、寒ギクなどがあり、花型は一重咲き、アネモネ咲き、管咲き、デコラティブ咲き、ポンポン咲きなど多様である。

一輪ギクと生態的に異なる点は、冬至芽は露地栽培では外見的には一般のキクと同様にロゼットを形成するが、低温期を経過しない冬至芽も温室で栽培すればすぐに節間伸長するので、生理的にロゼットを形成していない。幼若性が弱く、開花株から発生する冬至芽は短日条件下では低節位で花芽分化する。節間及び花首が長く、そのため草丈の伸長が早く栽培期間が短く、施設での周年生産に適する。

### 3 作型と品種

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏秋ギク無加温栽培	〇トソル〇 V - V◎ — ◎× ————— <input type="checkbox"/>											
夏秋ギク電照栽培	〇トソル〇 V - V◎◎× ————— <input type="checkbox"/> ☆ - 電照 - ☆											
秋ギクシェード栽培	# シェード # V◎× ————— <input type="checkbox"/>											
秋ギク無加温栽培	V ◎ × ————— <input type="checkbox"/>											
秋ギク加温・電照栽培	Ω ————— Ω V ◎ — ◎× ————— <input type="checkbox"/> ☆ - 電照 - ☆											

#### (1) 主な作型

##### ア 夏秋ギク無加温栽培

近年、夏秋ギクタイプのスプレーギクが多数育成されており、本作型も増加している。

##### イ 夏秋ギク電照栽培

夏秋ギクタイプのスプレーギクを用いて電照により出荷時期を調節する作型である。

##### ウ 秋ギクシェード栽培

秋ギクタイプのスプレーギクを用いてシェードにより出荷時期を調節する作型である。本県では10月以前の出荷に利用されている。

##### エ 秋ギク無加温栽培

秋ギクタイプのスプレーギクを用いた季咲き栽培である。

##### オ 秋ギク加温・電照栽培

秋ギクタイプのスプレーギクを用いて加温・電照によって出荷時期を調節する作型である。11月以降の出荷に利用されている。

#### (2) 主な品種

表2、表3に品種特性を示した。

##### ア 夏秋ギク

(ア) 白色系：ジューンブライド、キャッスル、ウエルカー

(イ) 黄色系：サンライト、サマーライト、スピカ、コスチューム

(ウ) 桃色系：シナノピンク、アルカディア、サーフィン、スイートマイル、アンダンテ、エトワール

(エ)赤色系：フロリダ、マミー

イ 秋ギク（写真1、写真2、写真3、写真4、写真5、写真6、写真7）

(ア)白色系：セイアルプス、アニー、スペース

(イ)黄色系：セイハニー、ロマリオ

(ウ)桃色系：リネカー、ロイヤルウェディング、ペギー

(エ)風車系：舞風車、金風車



写真1 セイハニー



写真2 ロマリオ



写真3 リネカー



写真4 ロイヤルウェディング



写真5 ペギー



写真6 舞風車



写真7 金風車

表2 スプレーギクの品種特性

(平成5年 青森畑園試)

挿し芽 時期 (月. 日)	品種名	採花時期 (月. 日)			切り花長 (cm)	葉 数 (枚)	側枝数 (本)	花蕾数 (個)	切り花重 (g)
		始期	最盛	終期					
3. 4	キャッスル	8. 2	8. 2	8. 9	127.0	34.4	8.3	13.9	129.3
	スピカ	8.12	8.16	8.21	132.2	41.4	5.2	16.9	199.1
	エトワール	8.22	8.28	9. 1	173.3	40.5	4.1	28.0	158.6
	アリス	8.23	8.30	9. 5	162.0	52.8	3.1	19.0	183.4
	オーロラ	9.16	9.20	9.20	192.8	51.0	4.1	42.5	267.5
3.26	キャッスル	8. 4	8. 9	8.11	119.3	30.8	7.2	15.1	125.0
	サーフィン	8.16	8.21	8.20	188.3	41.9	10.6	12.1	103.6
	サマーライト	8. 4	8.11	8.20	142.8	35.9	7.4	22.2	125.3
	スピカ	8.16	8.20	8.25	124.9	34.3	4.8	14.0	137.9
	シナノピンク	8. 4	8.10	8.16	131.7	47.5	10.7	20.1	137.7
	エトワール	8.20	8.25	8.28	156.8	35.5	4.8	31.1	167.3
	アリス	9. 1	9. 8	9.15	156.0	53.1	3.8	16.4	151.1
	オーロラ	9.17	9.22	9.24	184.9	49.8	5.0	31.9	225.3
	フロリダ	7.23	7.28	8. 1	153.9	36.4	7.7	21.4	171.8
4. 9	ジュンブライド	7.26	7.30	8. 2	96.3	21.2	7.2	9.0	52.2
	SP1833	8. 2	8. 5	8.11	116.2	26.3	10.4	25.0	142.3
	ウェルカム	8. 2	8. 9	8.16	103.2	23.0	5.4	7.5	84.4
	サーフィン	8.24	8.26	9. 5	173.9	39.0	13.4	17.4	111.9
	サンライト	7.26	7.30	8. 2	98.1	26.5	10.6	25.1	112.5
	SP1837	8. 4	8.11	8.16	96.7	27.0	8.7	10.1	68.5
	アルカディア	8. 4	8. 9	8.11	99.8	27.0	9.9	19.9	84.7
	スイートマイル	8. 5	8.11	8.16	102.9	32.0	6.0	9.1	90.9
	SP1839	8.20	8.25	9. 1	120.7	35.6	7.8	15.7	105.7
	アンダンテ	8.16	8.20	8.23	105.2	31.1	4.4	11.8	79.4
	マミー	8.11	8.12	8.18	107.7	32.6	9.0	19.0	119.4
	4.22	キャッスル	8.16	8.26	8.30	97.6	25.5	7.6	14.7
サーフィン		8.27	8.28	9. 3	156.8	34.7	10.5	12.8	89.1
スピカ		8.16	8.24	9. 1	103.4	28.2	5.9	11.6	102.9
サマーライト		8.25	8.28	9. 2	139.7	35.1	10.4	29.4	141.5
シナノピンク		8.12	8.16	8.23	110.2	36.0	9.1	12.5	84.1
エトワール		8.22	8.28	9. 1	123.7	29.0	7.5	17.1	84.4
アリス		9. 8	9.17	9.24	135.8	45.8	4.7	11.3	100.9
オーロラ		9.23	9.28	10. 2	145.7	44.6	8.0	31.8	250.5
フロリダ		8.12	8.16	8.16	152.3	33.3	9.2	27.9	190.6
5.18	ウェルカム	8.26	8.26	8.30	63.9	12.5	3.7	4.7	36.8
	SP1833	8.26	8.30	9. 1	93.2	20.2	9.0	19.5	89.7
	キャッスル	9. 1	9. 7	9.12	74.0	20.1	5.8	8.1	37.9
	サンライト	8.12	8.16	8.30	79.0	19.4	8.1	10.7	53.8
	SP1837	8.26	8.30	9. 2	65.9	19.5	9.1	13.4	47.1
	スピカ	8.28	9. 1	9.10	76.6	22.3	6.8	10.8	57.5
	コスチューム	9.12	9.18	9.20	144.8	30.2	17.2	44.1	127.0
	アルカディア	8.26	8.30	9. 3	65.8	17.7	9.1	12.6	37.6
	エトワール	8.28	8.28	8.30	90.9	21.3	9.2	12.6	57.6
	スイートマイル	8.26	9. 1	9. 6	74.9	22.5	5.8	6.9	32.8
	アンダンテ	8.30	9. 1	9. 5	71.4	22.9	6.6	10.6	55.9
	SP1839	9. 7	9.12	9.16	83.1	25.8	8.4	12.1	50.9
	アリス	9.10	9.21	9.29	105.1	35.9	5.3	11.4	77.3
	オーロラ	9.26	10. 3	10. 7	134.3	37.7	10.1	21.5	152.9
	マミー	9. 1	9. 5	9.10	86.2	24.4	10.2	24.7	78.8

注) 1) 採花期: 始期10%、最盛50%、終期90%

2) 挿し芽時期と摘心時期、定植時期及び2本仕立て

① 挿し芽3月4日、摘心3月16日、定植3月26日、2本仕立て5月18日

② 挿し芽3月26日、摘心4月6日、定植4月8日、2本仕立て5月18日

③ 挿し芽4月9日、摘心4月22日、定植4月26日、2本仕立て5月31日

④ 挿し芽4月22日、摘心5月6日、定植5月11日、2本仕立て6月7日

⑤ 挿し芽5月18日、摘心6月4日、定植6月4日、2本仕立て7月5日

3) 栽培環境: 無加温ビニールハウス、黒色ポリマルチ

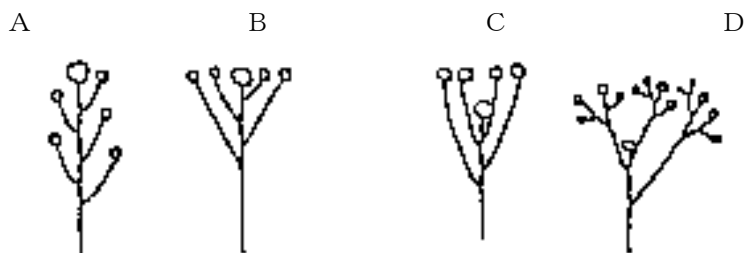
4) 栽植様式: うね幅160cm、条間15cm(中央30cm)、株間15cmの6条植え

表3 秋ギクタイプのスプレーギクの品種特性

(平成10年 フラワーセあおもり)

品 種 名	消 灯 時 期 (月/日)	消灯時 草 丈 (cm)	切り花時期			切 り 花 品 質					
			始 期 (月/日)	盛 期 (月/日)	終 期 (月/日)	切り花長 (cm)	葉 数 (枚)	花 蕾 数 (個)	切り花重 (g)	切り花本数 (本株)	花房形
セイアルプス	10/ 1	64.0	11/25	11/29	12/ 4	109.6	31.5	12.5	62.0	1.9	ABC
	10/15	74.4	12/13	12/19	12/28	128.2	33.9	9.2	63.4	1.6	ABC
ス ペ ー ス	10/ 1	65.0	11/20	11/23	11/29	96.7	36.2	13.4	57.1	1.9	A
	10/15	90.8	12/12	12/16	12/31	124.7	40.8	12.6	77.0	1.8	A
ア ニ ー	10/ 1	81.4	11/26	11/29	12/ 8	141.6	44.9	11.8	94.3	1.9	A
	10/15	104.0	12/24	1/ 4	1/12	165.5	49.7	7.2	109.2	1.8	A
セイハニー	10/ 1	93.8	11/23	11/25	11/27	149.2	49.0	17.4	91.9	2.0	A C
	10/15	126.8	12/15	12/19	12/19	180.2	55.1	13.7	116.6	1.8	ABC
ロ マ リ オ	10/ 1	87.4	11/20	11/22	11/27	122.0	35.7	11.3	76.9	1.9	A
	10/15	114.6	12/13	12/16	12/21	164.9	44.9	9.3	107.4	1.7	A
ムーンライト	10/ 1	57.2	11/22	11/25	11/27	91.3	48.5	13.4	46.4	2.0	ABCD
	10/15	80.2	12/15	12/19	12/28	104.9	50.4	9.3	53.1	2.0	ABCD
リネカー	10/ 1	88.0	11/22	11/24	11/26	146.1	51.7	14.8	81.1	1.9	A
	10/15	98.6	12/17	12/21	12/31	159.5	54.2	11.3	74.7	2.0	A
ロイヤルウェディング	10/ 1	95.4	11/21	11/23	11/28	149.2	50.6	25.9	96.3	1.9	A
	10/15	106.8	12/15	12/21	12/28	159.2	52.6	14.0	84.9	1.8	A C
ハ キ ー	10/ 1	75.4	11/22	11/25	11/29	111.6	42.4	12.8	61.6	2.0	A
	10/15	98.6	12/16	12/25	1/ 4	142.6	50.8	9.0	74.2	2.0	A
バ ラ ード	10/ 1	74.8	11/27	12/ 8	12/17	152.5	40.6	12.7	90.0	1.9	A
	10/15	110.2	12/25	1/ 8	1/19	175.7	48.4	8.2	129.0	1.1	A
金 風 車	10/ 1	85.0	11/22	11/24	11/27	112.5	53.8	9.9	79.9	2.0	A
	10/15	83.2	12/18	12/25	12/31	116.5	58.0	4.9	65.7	2.0	A
舞 風 車	10/ 1	67.6	11/29	12/ 1	12/ 6	113.1	36.3	8.1	64.8	1.9	A
	10/15	71.2	12/28	1/ 4	1/12	123.3	38.7	5.5	62.5	1.6	A

- 注 1) 切り花時期始期、盛期、終期：全体の10、50、90%を切り花した日  
 2) 切り前は、誠文堂新光社発行「花の切り前」の基準の4とした。  
 3) 花房形



## 耕種概要

- 1 栽培環境：硬質プラスチックハウス
- 2 温度管理：最低室温15℃
- 3 挿し芽：7月5日（スペース、アニー、ロマリオ、ムーンライト、ペギー、バラード、舞風車）
- 4 定植期：7月21日（リネカー、ロイヤルウェディング、金風車：購入苗使用）  
7月31日（スペース、アニー、セイハニー、ロマリオ、ムーンライト、ペギー、バラード、舞風車）  
8月12日（セイアルプス）
- 5 摘心：8月8日  
8月12日（セイアルプスのみ）
- 6 栽植様式：うね幅160cm、株間15cm、条間15cm（中央30cm）の4条植えの2本仕立て

## 4 栽培

### (1) 育苗

#### ア 親株育成用母株の選定

10～11月出荷の作型で、採花前に、草勢・花色・花形などが優れ、ウイルス病・半身萎凋病などで伝染する害虫についても注意して良株を選定する。冬至芽の発生が少ないので、十分な数の親株用母株を確保しなければならない。

#### イ 採穂用親株の栽培

自然開花期が10月下旬から11月上旬の秋ギクでは、日長が14.5時間以下になると花芽分化する性質があるので、8月10日から4月30日の間は電照を行う必要がある。自然開花期が10月中旬以前の品種の親株には、周年にわたる電照が必要である。

管理温度は夜間最低16℃くらいが理想的である。低温で管理した親株から採穂すると、短日処理を行っても到花日数が長くなり花房形が乱れることがある。親株の栽植密度は、うね幅180cm、条間15cm、株間15cmの8条植え程度とする。（30株/m<sup>2</sup>）

#### ウ 挿し穂の調整

挿し穂は5～6cmの長さが適当である。地中から発生した芽を採取した挿し穂を使用した場合、開花が遅れることがあるので、浅めに摘心した後に発生する側芽を挿し穂とする。

#### エ 挿し芽

輪ギクに準ずる。

### (2) 定植

施肥量は多肥の場合花房形が乱れることがあるので一輪ギクの3分の2くらいとする。栽植様式は、うね幅160cm、条間15cm、株間15cmの6条植えを目安とする。摘心は定植10～14日後とし、摘心は浅めにした方が側枝のそろいがよくなる。

### (3) かん水

定植～草丈30～40cmくらいまでは十分にかん水する。

### (4) 定植後の管理

輪ギクに準ずる。

## 5 主要病害虫とその防除対策

輪ギクに準ずる。

## 6 収穫・調製・出荷

中心の花が満開、その周囲の2～3輪が2～3分咲きの時収穫し、10本1束とし、水上げし、100本ずつ箱詰めし出荷する。

## 参考・引用文献

- 1) 柴田道夫ほか、「農業技術体系花卉編6 キク」、農山漁村文化協会（平成7年）
- 2) 長野県、長野県農業協同組合中央会、長野県経済事業農業協同組合連合会、「花き栽培指標」、（平成10年）
- 3) 青森県農林技術会議、「平成6年度奨励事項・指導参考資料等」
- 4) 青森県農業研究推進センター、「平成11年度奨励事項・指導参考資料等」



# スプレーギク(秋ギク)施設栽培ごよみ

月	旬	生育状況	作業	栽培の要点	摘要										
12	上	育苗・準備期	苗床の準備 冬至芽伏せ込み	<p>1 作型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作型</th> <th>挿し芽</th> <th>定植</th> <th>摘心</th> <th>収穫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレーギク(秋ギク)の施設栽培</td> <td>7月上旬</td> <td>7月中旬</td> <td>7月下旬</td> <td>10月下旬</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 季咲き栽培の場合</p> <p>2 品種 スプレーギク(秋ギク)の品種数が多いので、品種特性を把握し、生産から販売までを検討して決定する。</p> <p>(1) 秋ギクの主要品種 ア 白色系：セイアルプス、アニー、スペース イ 黄色系：セイハニー、ロマリオ ウ 桃色系：リネカー、ペギー、ロイヤルウェディング エ 風車系：舞風車、金風車</p> <p>3 育苗 (1) 親株育成用母株の選定 ○採花前に草姿、花色、花形などが優れ、罹病状態に注意し、良株を選定する。 ○親株の栽植様式は、うね幅180cm、条間15cm、株間15cmの8条植え程度(30株/㎡)とする。 (2) 挿し穂の準備 ○芽が動き出したら浅めに摘心する。 (3) 挿し芽 ○展開葉5枚程度、長さ5~6cm、下葉1~2cmとする。 ○挿し土は川砂や市販の育苗用土で無病のものを使用する。 ○挿し芽間隔は2cm×2cm程度でセルトレーを使用すると簡単である。</p> <p>4 定植 (1) 定植時期 ○挿し芽苗の発根が根長1~2cmのときに定植する。 ○摘心は活着後実施する。(通常は定植約10日後) (2) 施肥 ○輪ギクの3分の2程度とする。 (3) 栽植様式 ○うね幅160cm、株間15cm、条間15cmの6条植えを目安とする。</p> <p>5 定植後の管理 (1) 電照(利用する場合) ○摘心後暗期中断の4時間電照を実施し、採花の45~55日くらい前に消灯する。 (2) フラワーネット・支柱立て ○茎が曲がらないようにフラワーネットを設置し、生育に応じて引き上げていく。 (3) かん水 ○pF2.1を目標にかん水する。</p> <p>6 収穫 ○切り前3~4を目安に採花する。</p>	作型	挿し芽	定植	摘心	収穫	スプレーギク(秋ギク)の施設栽培	7月上旬	7月中旬	7月下旬	10月下旬	施設(電照・シェード)  11月出荷電照栽培の場合 挿し芽 8月上旬 定植 8月中旬 摘心 8月下旬 を目安にする。  9月出荷シェード栽培の場合 挿し芽 6月上旬 定植 6月中旬 摘心 6月下旬 を目安にする。
	作型				挿し芽	定植	摘心	収穫							
	スプレーギク(秋ギク)の施設栽培				7月上旬	7月中旬	7月下旬	10月下旬							
	中														
	下														
	1				上										
	1				中										
	1				下										
	2				上										
	2				中										
	2				下										
	3				上										
3	中														
3	下														
4	上														
4	中														
4	下														
5	上														
5	中														
5	下														
6	上	親株摘心													
6	中														
6	下														
7	上	挿し芽													
7	中	定植													
7	下	生育摘心													
8	上	支柱立て													
8	中	ネット張り													
8	下														
9	上														
9	中														
9	下														
10	上	開花期													
10	中	採花													
10	下														
11	上	株養成	親株管理		シェードの場合、採花の50日くらい前に開始する。										
11	中														
11	下														